

Q. 農福連携で行っている内容は？

弊社と同じグループである「太陽の丘」の利用者の方々に、サツマイモやお米等の植え付けや収穫、草払い等の管理作業をお願いしています。ほかにも、車椅子の方でも作業しやすいように、ハウスの中でのハウレン草の高設栽培等も行っています。作業効率を上げるために、利用者の方が理解しやすい指示を出すように工夫をしながら取り組んでいます。

Q. 農福連携に取り組んで良かった点は？

労働力としても、私たちも非常に助けられています。農福連携を成功させるには、農業側も利益が出なければなりません。障がいがあっても作業能力は経験を積み上げていくので、3～5年のスパンで考えれば、十分に農業分野で活躍してくれると思います。

Q. 今後の展望は？

農福連携を通して、双方が支え合い、活躍できるような農業を目指したいです。また、障がいのある方や地域と一緒に、地域農業を守っていきたいです。

障がいがあっても活躍できます。



▲野菜の重さを色で簡単に見分け選別できるようにするなど、障がい者のための工夫を重ねている。

農業

株式会社ひまわり農苑
取締役 結城 康文 さん

平成30年10月から農福連携に取り組んでいる会社では、「ノウフクJAS」の取得や野里町周辺での米の作業受託等も視野に入れている。



福祉



▲同センターでは、ほかにも利用者によるパンの製造や調理なども行い、就労支援を進めている。

利用者の成長を感じています。

Q. 農福連携に取り組んで良かった点は？

農作業をするようになってから、本センターの利用者のそれぞれの表情が非常に明るくなり、施設の雰囲気も良くなりました。また、利用者の自発性が芽生えてきたように思います。利用者の方々の成長を実感すると同時に、自然との触れ合いや共同作業をする大切さを私も改めて感じているところです。

Q. 農福連携をうまく進めるためには？

農業分野と福祉分野の双方のコーディネーターの果たす役割が大きいと思います。ひまわり農苑の皆さんは、知的障がいや身体障がいなど様々な利用者の方のことをよく理解していただき利用者を温かく迎えてくださるので、感謝しています。

Q. 今後の展望は？

1人でも多くの利用者が農業分野での活躍や自立、一般就労できるよう、今後もサポートしたいです。農家が障がい者を必要とし、障がい者が農業を通して活躍し、地域と共生できる社会になってほしいです。



社会福祉法人 敬心会
自立支援センター太陽の丘
施設長 桑山 靖子 さん



農福連携とは、障がい者などが農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みです。農業分野では、障がい者等の受け入れを行うことで働き手を確保できるだけでなく、障がいに応じた生産工程や作業体系を見直すことで、農業生産の拡大や効率化にもつながることが期待できます。また、福祉分野では、障がい者の就労先の確保や工賃・賃金の向上につながっていくことが期待されています。

市農林水産課かのがやアグリ起業ファーム推進室 Tel.0994-31-1183 市福祉政策課 Tel.0994-31-1113

市内でも広がりを見せている「農福連携」の取り組み。株式会社ひまわり農苑（西原4丁目）では、障がい者の就労支援施設「自立支援センター太陽の丘」（今坂町）と連携し、平成30年から農福連携の取り組みを始めています。

1月のある日、野里町内にあるビニールハウスでは、太陽の丘の利用者による農作業が行われていました。この日の作業は、栽培するハウレン草の周りの草取り。ひまわり農苑や太陽の丘のスタッフによる指導のもと、利用者たちは雑草を取り除いていきます。

ビニールハウス内は、会話とコミュニケーションを時折はさみながら、にこやかに作業を進める利用者の笑顔であふれていました。

「まだ始めたばかりなので、試行錯誤しながら取り組んでいます」と語るのは、ひまわり農苑の結城康文さん。しかしこの日の光景からは、障がいのある人も農業を通じて他者から必要とされ活躍できる「農福連携」の可能性の一端を垣間見ることができました。



「農福連携」のこと

農福連携の形

①福祉事業者と農業者が連携して行うケース

福祉事業者が近隣の農業者から農作業を受託し、施設の利用者とともに農業者から依頼のあった仕事を行う。



②福祉事業者が主体となつて行うケース

福祉事業者が、利用者の職業訓練の一環として農作業を取り入れるために、施設の敷地内の一角や近隣の農地を使って農産物を栽培する。



農福連携に取り組んでみたい！

①役立つマニュアルがあります

「農業分野における障害者就労マニュアル」や「はじめからわかる障害者雇用事業主のためのQ&A集」などが参考になります。



▲農業分野における障害者就労マニュアル

②補助制度があります

農福連携の取り組みに対し、様々な支援があります。

- 例えば・・・
- 福祉事業者等が福祉農園等を整備するための費用の補助
 - 福祉事業者が農業技術の習得に必要な研修費の補助
 - 農業者が障がい者を雇用する場合の助成 など

これらの情報のほか、農福連携の事例なども市ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

市農林水産課かのがやアグリ起業ファーム推進室
Tel.0994-31-1183
市福祉政策課
Tel.0994-31-1113

鹿屋市 農福連携 検索